

非ホジキンリンパ腫 CHASER

患者ID: @PATIENTID

1 コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 21 (~28) 日間

目標: 4コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Dc	#VALUE!

アレルギー
※必ず無しを確認

使用薬剤: リツキシマブ (Rituximab): リツキシマブBS注 100mg/10mL/V、500mg/50mL/V

エトポシド (VP-16): エトポシド点滴静注液 100mg/V/5mL

シタラビン (Ara-C): シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

シクロホスファミド (CPA): シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V

使用基準: CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

※ **Infusion reaction** に要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。

重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック)の発現の報告が**初回の投与中又は投与開始後24時間以内**に多い。約90%の患者で初回投与時に発現。

※ **腫瘍崩壊症候群** に要注意 (血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)

腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症

※ HBc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

※ G-CSFをDay7以降好中球数>5000/ μ Lまで継続

※ シタラビンによる眼症状予防に0.1%サンベタゾン点眼液をday3~day13まで使用すること。

(day3~6: 1日6回点眼、day7~13: 1日4回点眼)

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/m ²	#VALUE!		1
エトポシド	100 mg/m ²	#VALUE!		2 ~ 4
シタラビン	2000 mg/m ²	#VALUE!		3 ~ 4
シクロホスファミド	1200 mg/m ²	#VALUE!		2

<< タイムスケジュール >> **リツキシマブBS、CHASEの開始時刻を別々に入力してください**

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1): 1月1日 (金)

点滴前内服

- ① カロナール錠 200mg 2T 1x (1)
- ② ポララミン錠 2mg 1T 1x (1)

0時00分

- ① 生理食塩液 100mL + サクシゾン 300mg
30分で点滴静注

0時30分

- | | | |
|---|-----------|-----------|
| ② | 5%ブドウ糖液 | 0mL |
| + | リツキシマブBS注 | 0mg 0.0mL |

↓ 50mL/hrで30分点滴静注

↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50mL/hrずつ上げることができる

↓ 最大400mL/hrまで上げることができる

徐々に投与速度を上げて点滴静注

※下記は2回目以降の投与

↓ 100mL/hrで30分点滴静注

↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に100mL/hrずつ上げることができる

↓ 最大400mL/hrまで上げることができる

- ③ 生理食塩液 50mL

フラッシュ

Day	2	1月2日 (土)				
	0時00分	① 生理食塩液 50mL	+	グラセトン 1 A	+	デキサート 6.6mg 5V
		15分で点滴静注				
	0時15分	② 生理食塩液 250mL	+	シロキスファミド注		0mg
		2時間で点滴静注				
	2時15分	③ 生理食塩液 500mL	+	エトポシド		0mg
		2時間で点滴静注				0.0ml
	4時15分	④ 生理食塩液 50mL				
		フラッシュ				
Day	3 ~ 4	1月3日 (日) ~		1月4日 (月)		
		外用		0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防)		1日6回点眼
	0時00分	① 生理食塩液 50mL	+	グラセトン 1 A	+	デキサート 6.6mg 5V
		15分で点滴静注				
	0時15分	② 生理食塩液 500mL	+	シタラビン注		0mg
		3時間で点滴静注				0.0ml
	3時15分	③ 生理食塩液 500mL	+	エトポシド		0mg
		2時間で点滴静注				0.0ml
	5時15分	生理食塩液 50mL				
		フラッシュ				
Day	5 ~ 6	1月5日 (火) ~		1月6日 (水)		
		外用		0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防)		1日6回点眼
Day	7 ~ 13	1月7日 (木) ~		1月13日 (水)		
		外用		0.1%サンベタゾン点眼液 (シタラビンによる眼症状予防)		1日4回点眼

REFERENCE

Yasuhiro Oki, Michinori Ogura, Harumi Kato, et al. Cancer Sci 2008 99(1) 179-184
Phase II study of a salvage regimen using cyclophosphamide, high-dose cytarabine, dexamethasone, etoposide, and rituximab in patients with relapsed or refractory B-cell non-Hodgkin's lymphoma
2011年化学療法プロトコール審査委員会承認：2011年2月14日 更新：2018年9月10日